

# 平成18年(第4回) 9月議会定例会



## 今議会で可決された議案等の概要

(紙面の都合で内容は一部省略してあります)

ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正

対象者の一部負担金の助成に係る判定に、生計を同じくする家族等の所得判定が加わる等の改正です。

福島県市町村総合事務組合の規約の変更

「消防組織法の一部を改正する法律」が公布・施行されたことに伴い、条項の一部を変更するものです。

平成17年度 一般会計歳入歳出決算

平成17年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算

平成17年度 診療所特別会計歳入歳出決算

平成17年度 簡易水道事業特別会計歳入歳出決算

平成17年度 老人保健特別会計歳入歳出決算

平成17年度 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

平成18年度 一般会計補正予算

既定予算の総額に6513万円を追加し、歳入歳出予算の総額を35億8866万円としました。主な歳出内容は、総務費：一般コミュニティ事業補助金170万円、農村楽園基金等積立金1921万円、民生費

：障害者自立支援事務処理委託料180万円、子育て支援に係る貸付金△1025万円、農林水産業費：森林環境整備費561万円、商工費：企業立地支援事業補助金3000万円、モニター旅行委託料154万円、土木費：道路改良測量設計業務委託料140万円などです。

平成18年度 介護保険特別会計補正予算

既定予算の総額に6万円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億7885万円としました。

主な歳出内容は、介護認定審査会設置負担金、保険料還付金で、その財源は保険料、一般会計繰入金です。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

被保険者が出産したときに支給する出産一時金の額を、30万円から35万円に引き上げる改正です。

平成18年9月議会定例会は、9月11日から25日までの日程で開かれました。

一般質問は13日に行われ、4人の議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。

また、平成17年度の各会計に係る決算審査特別委員会は、19日から21日までの3日間行われました。

さらに、次回の村議会選挙から議員定数を2人減の12人とする議員発議を可決しています。

### 平成17年度 介護保険特別会計 歳入歳出決算

一般会計の決算額は、歳入36億4214万円、歳出34億9211万円で、そのうち、繰越明許費の財源繰越208万円を差し引き、実質収支は1億4795万です。その中から財政調整基金に7400万円の積立をしています。

### 報告 福島県市町村総合事務組合を組織する団体数の減少及び規約の変更

8月31日をもって会津地区広域事業組合が福島県市町村総合事務組合から脱退するため、規約の一部を改正するものです。

### 報告 福島県市町村総合事務組合を組織する団体数の減少及び規約の変更

9月30日をもって三島町外2町1村衛生処理組合が福島県市町村総合事務組合から脱退するため、規約の一部を改正するものです。

### 追加議案

#### スクールバスの取得

更新のため、スクールバス1台を購入したいので、その取得について議会の議決を求めます。

## 村長村政報告

(紙面の都合で内容は一部省略してあります)

### いいたて・までいユニット

本村は、今までライフを基本理念として、村民と職員が協働し、自立の村づくりを進めています。時代の変化が激しく、村が直面する課題が数多くあることも強く認識しています。

そんな中、「ぜひ飯館村を応援したい」、「力になります」といった応援の声を多数お寄せいただきました。そこで、今まで村づくりに関わって下さった方々、村に熱い思いを寄せて下さる方々を組織化し、そのメンバーと村と住民と

### 村選挙管理委員会 委員の選挙

議員選挙により、斎藤次男さん(深谷)、高野京子さん(大倉)、西尾豊さん(二枚橋・須萱)、嶋原三枝子さん(長泥)が委員に当選されました。



▲設立総会のようす

が協働することで、さらなる村の発展につなげていければと考え、7月30日に宿泊体験館きこりにて「いいたて・までいユニット設立総会」を開催しました。総勢49名の参加があり、内訳は会員が29名、村議会議員、職員等20名。

少しでも村の持つ価値を共有し合い、ネットワークを広げ、会員の専門的な知識・特技・情報を飯館村の村づくりに活かしていければと考えています。

### 新多目的交通システム

平成18年度事業として、福島県商工会連合会による飯館村の新多目的交通システム導入促進事業が採択になりました。

この採択を受け、8月2日に「新多目的交通システム導入検討委員会」を立ち上げ、本事業を効果的・効率的に推進することにしました。

今後、村民がどのような利用をしているのか、また、どのような交通手段をとっているのか実態を把握するため、現在全戸のアンケートを取りまとめているところであり、その結果も踏まえて、さらに検討委員会での協議することとしています。

最終的には、来年3月までは、新交通体系の総合

### 農作物への対策

長雨と日照不足による農作物への当面の対策についてですが、7月14日県発表による水稲の葉イモチ病注意報を受け、村では7月27日に県農業普及部、JA、農業委員会並びに村の各関係機関による「飯館村病害虫対策本部会議」を開催し、今後の対応策を検討しました。具体的には、広報車による広報とチラシの配布、さらにはJA各支部長ほか関係部会への適期防除と栽培管理の徹底に努めてきたところとです。

また、水稲についてはイモチ病の蔓延が心配されたため、防除の薬剤代の一部を追加防除1回限りを条件に、病害虫対策本部会計より支援する対策も講じたところとです。なお、薬剤の支

援については、農薬の飛散防止制度（ポジティブリスト）の発足により、粉剤ですと他作物へ飛散し被害の恐れが強いため、液剤のみに限らせて頂きました。

8月は好天が続く、農作物の生育状況も持ち直してきており、葉たばこ、露地物の野菜など一部の作物を除き、このまま好天が続けば平年作に近づくのではないかと期待しています。

### 集落営農、農地・水・環境保全向上対策

7月24日から8月2日まで、3班編成で県農業普及部、JA、農業委員会、村合同による3回目の全行政区を対象にした地区説明会を開催し、住民の理解と協力を求めてきました。説明会では、次の7項目について基本的な考え方を示しながら説明したところです。

- ①基本原則は一集落一組織。
- ②水田を中心とする。
- ③集落営農組織は、集落ぐるみ型をめざす。
- ④農地・水・環境の区域は集落営農の農

### 商工業

8月9日に企業立地審議会を開催し、(株)ハヤシ製作所から申請のありました工場増設（鉄骨造り一部2階建、690.04㎡・総事業費669.6万円）について承認いただきましたので、今回の補正予算に補助金300.0万円を計上しました。

ハヤシ製作所によりまずと、製造している光学部品の受注が多くなり、工場増設の必要性に迫られていたことなどから、今年度内に工場を増設し、社員も現在の42名から12名増員し、54名の生産体制を整えたいとのことです。

### 民家茅葺根改修工事

当地に移築以来14年目の茅葺根葺き替えでしたが、



▲屋根の葺き替えが終了した民家園

無事改修を完了しました。完成した民家園の茅葺根の景観は、とても素晴らしい仕上がりとなっております。今後は再生された伝統的な民家園を、イベントや交流の場として多くの皆さんに多目的に活用していただくよう推進していきたいと考えています。

### はやま湖まつり

7月30日、はやま湖周辺を会場に開催されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、取水トンネル探検、貯水池巡視体験、釣り大会など多彩なイベントが行なわれ、家族連れなど約2500人が祭りを楽しんでいました。

### 森林環境交付金事業

森林環境交付金事業について、6月議会に「森林環境基本幹事業」として、小中学生を対象とした森林環境教育などの予算補正をしました。今回は「地域提案重点幹事業」について、6月末に県へ要望書を提出し、採択の内定を受けています。この事業は、市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組むもので、一事業当たり500万円を限度として助成されます。

村では、あいの沢周辺を対象とした森林整備の推進、県産間伐材の活用推進の2事業を取り組むこととしています。

### 畜産関係

7月7日、「第8回全農肉牛枝肉共励会」が東京中央卸売市場で開催され、全国19都道府県から200頭が出品されました。審査の結果、最高位の「名誉賞」を受賞したのは、本村の受精

### 国民健康保険税

18年度の国民健康保険税の課税については、医療分の全被保険者が1431件、税額が2億2815万円、前年より55件、税額で2235万円の増となっており、介護分の全被保険者が859件、税額が2590万円、前年より13件、税額で456万円の増となっています。

### 福島交通路線バスのダイヤ改正

「川俣・原町線」と「川俣・飯桶線」のダイヤ見直しについて、福島交通から通知があり、10月1日より川俣・原町線は現行の8便から6便に減便され、一部運行時刻が変更されます。

また、川俣・飯桶線も3便から2便に減便され、各線とも平日と土日祝日の便は同じ時刻表となります。

### ごみ処理対策

今年度から「もやすごみ」の減量化を重点的に進めており、紙類の資源回収を始めています。そのための養成講座を各行政区・婦人会主催により順次実施しています。現在のところ10行政区で実施し、プラスチック容器包装類と紙類の両方を排出できるダイエットマスター12級認定者は473人、紙類のみを資源として排出できるダイエットマスター3級認定者は41人です。

### 交通事故防止運動

本年は死亡事故ゼロ500日を目指して交通安全を推進してきましたが、残念ながら8月13日、二枚橋地内において死亡事故が発生しました。

また、飲酒運転による事故も後を絶たないことから、村交通安全対策協議会では、交通安全協会、交通安全母の会など交通安全関係団体に、さらには広報車により事故防止を呼びかけました。

8月31日現在の村内の事故発生状況は、発生が前年より1件少い12件、死者は前年より1人少ない1人、負傷者は前年より4人多い20人となっています。県と南相馬警察署の発生件数、死者、負傷者数は減少していますが、死亡事故の約半

### 防犯関係

防犯は家庭や地域での活動が最も重要です。

飯桶町やさしく見まもり隊、草野田町組見まもり隊に続き、白石小学区内にも「見まもり隊」が結成され活動が開始されました。

また、各行政区にて防犯診断が実施されました。

### 教育委員会関係

埼玉県ふじみ野市で起きたプールでの死亡事故を受け、学校プールの安全管理状況について一斉点検を実施しましたが、特に異常は認められませんでした。プールに限らず校内施設設備の安全について安全管理を更

に徹底するよう指示しています。

本村らしい教育を進めるため、今般「飯館村までい共育推進会議」を設置することにしました。学校教育・社会教育のあり方等についてご意見・ご提案等をいただき、今後の教育行政に反映させていきたいと考えています。

相農飯館分校の活性化方策については、同窓会やPTAなど関係者のご意見を伺いながら検討を進めてきましたが、このほど一定の方向が示されたところです。今後は、本村の総意として県に対し要請していききたいと考えています。

### 社会教育関係

今年で9回目の海洋アドベンチャースクールに、小学6年生とスタッフの計87名で4泊5日の日程で実施しました。船上体験をはじめ北海道の自然や文化に触れたり、倶知安町の子どもたちと交流するなど、多



▲倶知安町の子どもたちとの交流登山

スポーツカーニバル2006が、体育協会主催により8月19日・20日の2日間、にわたり394人の参加者を得て、スポーツ公園を中心に開催されました。

誰でも参加できる体験コーナーでは、ゲートボール・ジョギング・グラウンドゴルフ・ニュースポーツ等が行われ、また、スポーツをする事によって身体にどんな影響があるのかを知っていたくため、スポーツ講演会も行われました。